

コード	50204
作成年度	24年度

基本事業評価表

基本事業名称	学習基盤の整備
--------	---------

総合計画の位置付け	
政策名称	しまの誇り・文化の育成
施策名称	生涯学習の充実

課コード	125	関係課名	
主管課名	生涯学習課		

基本事業の目的

社会教育施設の適正な維持管理を行うとともに、運営方法の統一などを進め利便性の向上を図り、生涯学習社会実現のための人づくりを目的とする。

基本事業の成果

成果指標名称 1	公民館講座の開催数	成果指標名称 2	公民館利用者数				
成果指標の積算根拠	計画した公民館講座の開催数	成果指標の積算根拠	前年度公民館利用者数				
目標達成年度	平成26年度	目標達成年度	平成24年度				
目標達成数値	毎年15回	目標達成数値	99,111人				
年 度		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	
成果指標 1	目標 A	回	15	15	15	15	15
	実績 B	回	12	16	11	15	
	達成率 B/A	%	80.0	106.6	73.3	100.0	
成果指標 2	目標 A	人	109,561	116,602	121,851	123,073	99,111
	実績 B	人	116,602	121,851	123,073	99,111	
	達成率 B/A	%	106.4	104.5	101.0	80.5	

1次評価	現状	使用料・運営方法の統一を図り、町民の利便性向上に努めてきているが、職員減、経年による施設の老朽化にあわせて、一部サービス等の低下が見られる。
	課題	職員が減員する中で施設の有効活用を考慮し、いち早く教育施設として利用しないものについては、普通財産へ移管したうえで処分または活用策を精査する必要がある。今後、耐震化を含めて社会教育施設の改修計画が必要である。
	改善	所管を越えた施設の管理・運営について、統一できるよう行政内部での協議を進めるとともに、施設の耐震化を策定し、国・県の支援が受けられる改修計画を立案する。
2次評価		社会教育施設の中で複合施設として管理されている施設については、管理・運営方法を見直していくこと。施設の老朽化・耐震化については、計画的に改善を図り、利用効果がない老朽施設については処分の方向でいくこと。
3次評価 住民等の意見		
町の対応		

※3次評価は、住民等の意見があった場合にのみ、再度公表するものとする。

◆基本事業を構成する評価対象事業◆

番号	評価コード	評価対象事業名称	担当課	平成23年度 直接事業費	評価の方向性
1	502040109	社会教育関係団体補助事業	生涯学習課	5,748千円	(途中) このまま事業を継続
2	502040110	公民館活動振興補助事業	生涯学習課	82千円	(途中) このまま事業を継続
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
基本事業を構成する評価対象事業の合計事業費				5,830千円	